

令和7年度 リカレント教育講座「目指そう細胞検査士・協働しよう臨床検査技師」

開催概要

「がん」は初期～早期の段階で発見することで完全治癒も期待できます。このような初期～早期の癌を自覚症状のない状況あるいは軽微な異変をきっかけに細胞レベルで検出する検査が「細胞検査（細胞診）」です。細胞検査を担う臨床検査技師が、学会認定試験を経て取得するのが細胞検査士資格です。がんのスペシャリストでもある細胞検査士の認定試験に合格するためには、日常業務の中で実践的に技術的側面から細胞診を学びながら、高度な専門知識を習得することが必要です。また、資格取得後も目まぐるしく進歩・変革していく医療情勢に敏感に反応し、多角的な専門知識に精通する必要があります。そこで、本講座ではがん医療に関する臨床検査と病理について考える講義と、細胞診標本を用いた実践的な鏡検実習を併せて実施し、知識・技術のインプット・アウトプットの連携を目指します。

第1回 「体腔液-1：子宮と卵巣の病変と腹水細胞診」開催のご案内

令和7年度 第1回目のテーマは「子宮と卵巣の病変と腹水細胞診」です。女性に特有のがんである子宮がんや卵巣がんは腹水細胞診で遭遇すること多い腫瘍です。子宮がん、特に子宮内膜癌は術中腹腔洗浄細胞診で見いだされる癌細胞の出現パターンと予後の相関関係が見いだされていることから、出現癌細胞の検出と併せて、出現パターンの認識も重要です。また、卵巣がんは多様な組織型に対応して細胞像も特徴ある所見を示します。

今回のリカレント教育講座では、腹水や腹腔洗浄液の細胞診について、特徴的な細胞所見とその鑑別ポイントを解説していただきます。併せて、解説いただいた細胞診標本について十分なディスカッションを交えながらの鏡検実習を行います。

以下、実施要領に則り、子宮内膜癌および卵巣がん細胞の検出・判定について学びます。

実施要項

日時 令和7年 6月15日（日）13:00～16:00

場所 新潟大学医学部保健学科 病理系実習室（E棟1階）

プログラム

□ 受付 12:45～

□ 講演 13:00～14:00 「子宮と卵巣の病変と腹水細胞診」

講師：川口 裕貴恵 先生

（新潟大学医歯学総合病院 病理部臨床検査技師/細胞検査士）

□ 休憩 14:00～14:15

□ 実習 14:15～15:45 「子宮と卵巣の病変と腹水細胞診 鏡検および討論・解説」

□ アンケート回収 15:45～15:55 (新潟大学医学部保健学科 須貝 美佳)

□ 閉会 16:00

参加対象

- 病理検査業務に従事される臨床検査技師。
- 病理関連業務に従事し、これから細胞検査士資格を取得予定の方。
- 細胞検査士として病理検査業務に従事しながら、さらに知識・技術を定着させたい方。
- 婦人科腫瘍をはじめとするがん医療、病理検査にご興味のある臨床検査技師。
- その他、看護師、診療放射線技師、医師など医療従事者の方々

参加費 無料

募集人数 15 名

お申込み方法 <https://forms.gle/uQK6GfzDiPRoESnz9>
または 右の QR コードよりお申込みください。



申し込み締め切り 令和7年6月11日(水)

お問合せ先 新潟大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 須貝 美佳
TEL 025-227-0937
e-mail msugai.clg@niigata-u.ac.jp